

熊救協

事業検討委員会

事業検討委員会は、熊救協にある3つの委員会の中で、スポーツを中心とした行事を担当、県下6施設の利用者及び職員の親睦と利用者個人の社会性・体力の向上等を目的に活動しています。

15年度は合同交歓会・ボーリング大会を計画、4月に利用者・職員・福祉事務所、約280人の参加を頂き合同交歓会を実施。利用者の希望や身体状況に応じてセレクトし参加できるよう、浮き球ベースボール・グランドゴルフ・ニチレクボールの3競技を実施しました。特に今回初めて取り入れた浮き球ベースボールはたいへんな盛り上がりを見せ、利用者・来賓・職員が一つになって楽しんで頂けたと思います。

ボーリング大会については、1月に昨年と同じ熊本市内のナムコワンダーシティーで計画しています。予定時間の超過やシューズのトラブル等昨年度の反省を踏まえ、大会がスムーズに実施できるよう準備を行っています。多数の賞品を準備しておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。16年度の大分・熊本ゲートボール交流会については、全国的にゲートボールよりグランドゴルフ人口が増えている現状や、たくさん利用者が参加できる等の理由により新たに追加する方向で検討しています。お楽しみに！！



2003
熊本県救護施設
合同交歓会

(パークドーム熊本)



2003
大分・熊本
ゲートボール
交流会

(別府市)

研修委員会

研修委員会では、熊救協職員の資質向上のための研修会を年4回実施しています。

写真は熊本県総合福祉センターで開催した第2回熊救協職員研修会の様子です。

8月28日、介護実習・普及課長の新谷良徳氏を講師に「福祉用具の活用について」と題して、介護保険制度の概要、介護保険制度における福祉用具について講義があり、引き続き各種車椅子・ポータブルトイレ・移動用リフト等の利用方法の説明や福祉用具の見学を行いました。参加者も全員が移乗関連用具を使用した移乗方法を体験し、多種多様な福祉用具の利用方法について興味深く質問がある場面もありました。

午後からのグループ討議では、各施設のかかえる介助・介護の問題点について討議されました。机上では学ぶことができないこともあり、より熱心な研修会となりました。



2003 8 28

【熊救協2003,no.3】

今回は各施設のトピックス、高齢化の実態調査の報告を掲載致しました。今後も役に立つ情報提供をと考えています。ご意見をお寄せください。

編集：熊本県救護施設協議会
調査・研究委員会

発行：熊本県救護施設協議会

事務局：〒861-1201 熊本県菊池郡泗水町吉富今寺17-1

菊池園 Tel (0968) 38-2956

Fax (0968) 38-6017

【ご挨拶】

熊本県救護施設協議会
調査・研究委員長 三宅 浩徳

いよいよ本格的な寒さの到来です。皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。熊本県救護施設協議会の専門委員会が発足してから、やがて8年になります。その間、研修委員長を7年間務めさせていただきました。委員の皆さんをはじめ、ご協力頂きました皆様方に感謝を申し上げます。この度、きょうの機会を捉え、委員一同努力して、協議会の調査・研究委員長も務めることになり、今年度中には各施設の状況調査等を行う予定で、微力ではありますが、頑張っており、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

【各施設のトピックス】

【天草園】～ボランティア活動～

天草園のある宮野河内には6地区があり、各地区の秋祭りの開催に合わせ、ボランティアクラブにおいて神社の清掃奉仕作業を行っています。

この活動は利用者の方より「地域の一員として何ができるのだろうか」との声を反映し、5年前よりクラブ活動として計画（その他、空き缶拾いや公衆トイレ清掃等あり）、年々定着し地域より大変よろこばれています。

また利用者にも今まで受け入れるだけのボランティアから、自分たちが行うボランティアを経験、達成感や充実感、地域住民との直接交流等、色々な面において大変内容のある地域交流となっています。



【しらがね寮】～地域活動を通して～

しらがね寮の平均年齢は現在67歳であり、高齢化に伴い日課の見直しを検討しているところですが、寮行事のなかでも地域の施設として地域交流を重視しています。

その一環として全日本自動車産業労働組合総連合会のバックアップによるナイスハートふれあいの広場への参加や九州武蔵労働組合員さんのボランティアによる利用者とのグランドゴルフ大会など人と人とのふれあいをとても大切にしています。

地域に働きかけ、地域と一緒にあった取り組みを、今後は受け身ではなく、施設側も積極的に地域に働きかけ、地域と一緒にあった取り組みをと考えています。



2003 10 18

【菊池園】シャトルバス出発進行！

- 【目的】利用者の高齢化及び障害の重度化への対応として始めたサービスです。
- 【内容】郵便局での個人手持ち金の出し入れや病院への通院、更には個人での外出（ショッピング）と幅広く利用頂いています。
- 【運行経路】菊池園⇨富の原バス停（必要に応じてクリーニング店・コンビニエンスストア）経由
- 【運行時間】午前9時30分、午後3時00分（1日2回）



これからも安心して利用頂けるよう頑張りますので菊池園にお越しの際には、気軽にご利用下さい。

【千草寮】～観劇と温泉を楽しむ～

八代平野の中央に位置条件の良さと自然環境を生かした町の中に千草寮があります。寮の行事の一環として、毎年お盆正月に不帰省者旅行として日帰り旅行を計画しています。

今年のお盆には熊本市内の片岡劇場に行き温泉に芝居にと楽しい一日を過ごしてきました。



【野坂の浦荘】～収穫間近～

施設は高台にあり、はれた日には天草やリアス式の芦北海岸、遠く長島、雲仙岳と眺望することができます。そんな恵まれた環境の中での、農作業を中心とする作業訓練は健康で働く喜びを感じ、更に生きがいの発見につながっています。甘夏みかんやデコポン、高菜、大根、玉葱等々、自分たちで育てた新鮮な果物・野菜が食卓に並ぶのも大きな喜びとなっています。青空の下、額に汗し、収穫の喜びを一緒に体験しませんか。



【銀杏寮】～初優勝!!熊本市風船バレーボール大会～

去る11月1日、レクリエーションの一つ、風船バレーボールの試合が熊本市で行われ、2チームが参加したところ、なんと銀杏寮スマイルチームが深紅の優勝旗を手に入れました。

毎年、熊本市主催の大会でありながら他県チームが5連覇と優勝旗は県外のチームにもっていかれ、くやしい思いでしたが今年は大健闘でした！

また他チームとの交流もあり感激の大会でした。帰寮後みんなから祝福



調査・研究委員会

高齢化・重度化に関する調査より（平成15年8月実施）

表1 入所者に占める65歳以上・80歳以上の比率

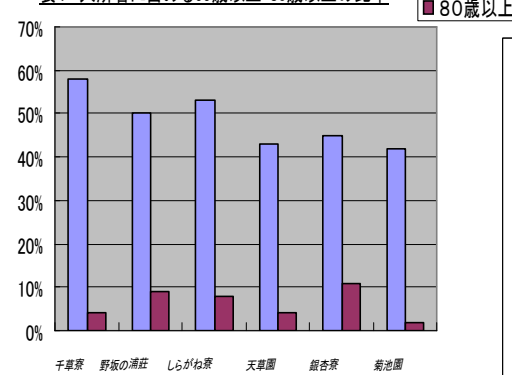


表2 身体状況

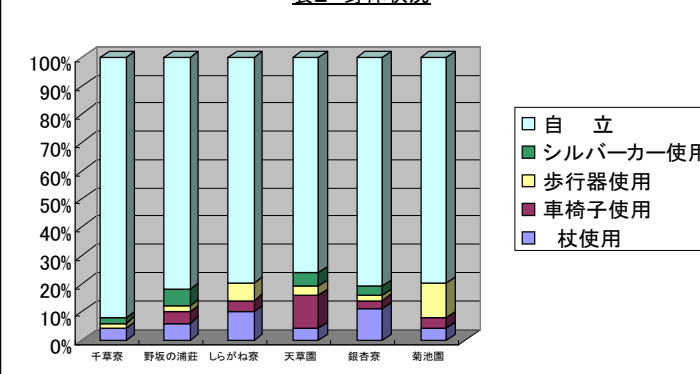


表3 ADL状況

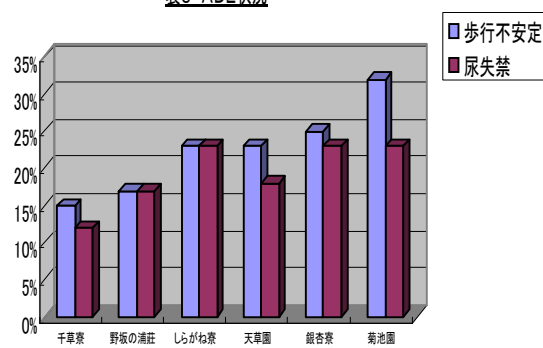


表4 オムツ使用状況

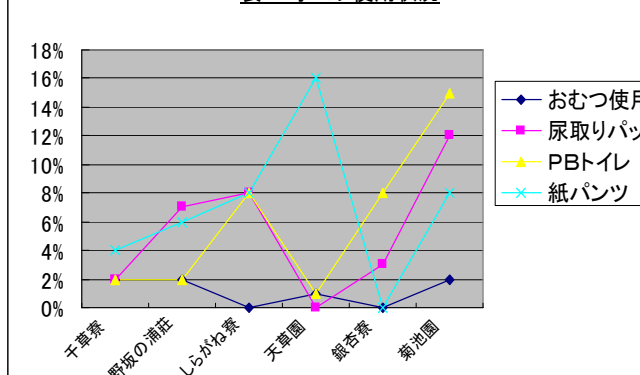
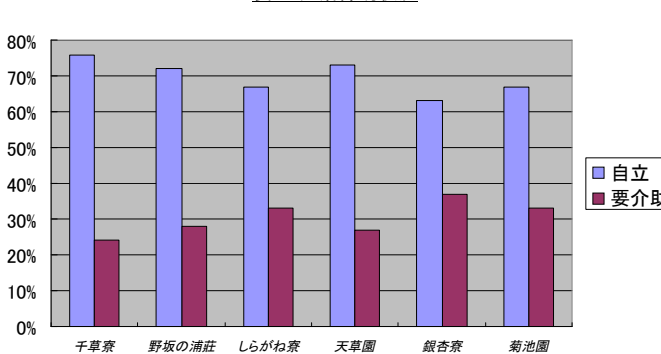


表5 入浴介助状況



各施設に於いては「高齢化・重度化が進んだ」といわれるが実際どうなのか具体的な状態像を知るために今回調査・研究委員会において調査を実施し、上記のような結果が得られました。

その結果、65歳以上の利用者が全体の半数近くを占めています（表1）。日常生活においては何等かの補助具を20%の人が必要とし（表2、3）、同じく20%

近い尿失禁者への対応として、ポータブルトイレや尿とりパット等の排泄介助を実施しています（表3、4）。また30%近い利用者は入浴介助を受けており（表5）、食生活面では歯の状態や嚥下状態に合わせた多様な食事形態がみられます。

今回の調査ではこのように、高齢化・重度化の具体的な状況が見えてきました。しかしその介護度については再度調査の必要を感じ、15年11月実施、今後結果をお知らせする予定です。

表6 食事状況

